

(仮称)北九州市自殺対策計画(素案)に対する  
市民意見提出手続の実施結果等について

◆ 市民意見提出手続きの意見

- 1 募集期間 平成 28 年 12 月 15 日から平成 29 年 1 月 13 日まで
- 2 提出者 10 人
- 3 提出意見数 12 件
- 4 提出方法  
持参 2 人  
電子メール 8 人
- 5 提出意見の内訳  
(1) 計画全般 に関するご意見 5 件  
(2) 重点的な取組 一人ひとりのライフコースの課題 に関するご意見 3 件  
(3) 重点的な取組 社会構造における課題 に関するご意見 2 件  
(4) その他 のご意見 2 件

◆ 北九州市自殺対策連絡会議 委員の意見

- 1 会議開催日 平成 29 年 2 月 20 日
- 2 意見数 2 件
- 3 意見の内訳  
(1) 重点的な取組 一人ひとりのライフコースの課題 に関するご意見 1 件  
(2) 重点的な取組 社会構造における課題 に関するご意見 1 件

◆ (仮称)北九州市自殺対策計画(素案)に対する意見と市の考え方(案)  
別添のとおり

本件に関するお問合せ先

精神保健福祉センター 田仲、今村、三井

電話 093-522-8744 FAX 093-522-8776

(仮称) 北九州市自殺対策計画(素案)に対する意見と市の考え方(案)

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や意見を求める意見
- 4 その他の意見

【意見の反映結果】

- ① 計画に掲載済
- ② 追加・修正あり
- ③ 追加・修正なし
- ④ その他

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
計画全般 に関するもの				
1	自殺対策という難しい取り組みに計画を作ってくれたことについて、非常に評価する。	計画(素案)の策定につきましては、本市の地域特性を把握するために実態調査を実施するとともに、自殺対策の関係機関で構成する「北九州市自殺対策連絡協議会」等において様々な意見をいただき、計画へ反映させていただきました。 今後も引き続き、1人でも多くの命を救うために自殺対策を推進してまいります。	1	④
2	北九州市で、毎年、こんなに多くの自殺で亡くなる方がいたことに驚いたが、様々な取り組みがされており、これで十分ではないかと思う。		1	④
3	テーマに沿った重点的な取り組みの切り口が分かりやすかったです。自殺対策が他人事ではないことが分かります。		1	④
4	せっかく計画を立てたのだから、計画倒れにならないようにしてもらいたい。	ご意見のとおり、計画の進捗状況や施策の評価による見直し等については、北九州市自殺対策連絡協議会において協議する等、着実に推進してまいります。	2	①
5	自殺対策計画とのタイトルだが、それだけで市民は読んでくれないのではないか? タイトルを工夫する必要がある。	ご意見を踏まえ、自殺対策計画の内容を分かりやすく表す副題(サブタイトル)をつけることで、周知を図ってまいります。	3	②
重点的な取組 一人ひとりのライフコースの課題 に関するもの				
6	子どものときからの教育が重要。道徳の授業を充実させるべきではないか。	本市では、教職員に対する自殺予防教育研修を実施し、児童生徒への自殺予防に関する指導の充実を図っています。 また、道徳の授業においては、自他の生命を大切にする心やいじめを許さない心などについて日々の道徳の時間の中で自他ともによりよく生きるための基盤となる道徳性を養う授業を行っています。今後も、授業のさらなる充実に向けて取り組んでまいります。	2	①
7	高齢者の自殺が多いことは、とても悲しいことだと思う。北九州市は政令指定都市のなかでも一番の超高齢化都市なので、高齢者を支える人達の理解を強力にすすめる必要があると思う。	ご意見のとおり、高齢者の自殺を防ぐためには、支援者をはじめ様々な周りの方々の理解が不可欠であることから、引き続き、研修や啓発活動など、高齢者の自殺を防ぐための取り組みを推進してまいります。	2	①
8	北九州市は伝統的に飲酒に寛容な地域だと思う。昔は、酒をいっぱい飲むことが大人のようなイメージがあった。しかし、飲酒運転をはじめ、アルコール依存症の問題など、社会問題化しその弊害はとて大きいことは認識されはじめています。そろそろ、飲酒についての意識をあらためなければならぬ。啓発や研修に力を入れるべき。	ご意見のとおり、本計画では「うつ・アルコール依存症」を重点的な取組のテーマとして掲げており、アルコール依存症に関する研修や飲酒の弊害の啓発活動などの施策を通じて、人が生きる上での困難を少しでも軽減し、乗り越えるためのきっかけとなるための取り組みを推進してまいります。	2	①
9	「民生委員・児童委員活動支援事業」の事業概要について、表現を分かりやすくすべきではないか。	ご意見を踏まえ、表現をあらためます。	3	②

(仮称)北九州市自殺対策計画(素案)に対する意見と市の考え方(案)

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や意見を求める意見
- 4 その他の意見

【意見の反映結果】

- ① 計画に掲載済
- ② 追加・修正あり
- ③ 追加・修正なし
- ④ その他

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
重点的な取組 社会構造における課題 に関するもの				
10	私の周りの人も自殺に対する偏見が大き く、自殺未遂した人は危険人物のように見ら れてしまい、その人を傷つけますます追い込 んでしまう。正しい情報を流す広報が重要だ と思う。	ご意見のとおり、自殺に追い込まれてしま う背景には、自殺に対する偏見による「孤 独」や社会の「生きづらさ」もあることか ら、本計画では「生きやすい地域づくり(市 民への普及啓発)」を重点的な取組のテーマ として掲げており、今後も、普及啓発に積極 的に取り組んでまいります。	2	①
11	ふいに自殺におこまれた者が、その自殺 理由にそった相談する所をみつけられるのか という問題、ふだんは、まったく気にしてい ない。 自殺を考えている者の精神状態を相談され る側が、みきわめられるのかという問題、そ の対応しだいでは、自殺のひきがねになるこ ともある。 人は、自分の知識の中でしか、判断できな い。相談する方も、相談される方も、それぞ れが、どれだけの知識をもっているかも、重 要なことです。まちがった判断も自殺を決断 する要因になっている。 要は、相談される側、支援する側が、人を 見る目を持ち、あらゆる相談にたいして、適 切な助言や支援ができる知識を持たなければ ならない。	ご意見のとおり、自殺に関する相談者や支 援者の資質の向上は重要な課題であり、本計 画においても自殺に関する啓発活動や各種研 修等の取り組みを推進しているところです。 今後も引き続き、関係者や関係機関などと 連携した支援の充実を図ってまいります。	2	①
12	「小地域福祉活動の推進」の事業概要につ いて、表現を分かりやすくすべきではない か。	ご意見を踏まえ、表現をあらためます。	3	②
その他				
13	計画の体系に含まれている「適切な精神科 医療を受けられるようにする」事は、自殺予 防のため、うつ病等を回復する為に必要不可 欠である。そのため、心療内科並びに精神科 医師には、患者の話を傾聴をし、心情を共感 し、言葉遣いに思いやりを持って接する事が 求められる。過去、市内の心療内科クリニッ クを受診したが、予約制を執っておきなが ら、当日、1時間30分遅れ、受付等スタッフ から遅れの理由の説明もなかった。その上、 主治医である院長は、心ない暴言を言い放 ち、本市の保健所「医療安全相談コーナー」 に事実を通告した経緯がある。市民が安心・ 信頼して精神科医療を受診できるよう、国並 びに日本医学会等に対して医師・医療従事者 に対する研修体制の充実を図って頂くよう要 請してほしい。	自殺予防に関するご意見として承ります。 自殺予防において適切な精神科医療機関を 受診することは重要であることから、引き続 き、関係機関との連携や協働を図ってまいり ます。	4	④
14	精神保健福祉センターにおいても、医師と しての責任感・倫理観、医療スタッフとして 、患者に対してのマナーなどの講習の機会 を設ける事も、計画策定を機会に検討してほ しい。	ご意見につきましては、関係機関との連携 や協働を図るうえでの取り組みの参考とさせ ていただきます。	3	③

(仮称) 北九州市自殺対策計画 (素案) (意見に基づく修正箇所)

**修正 1**

**【意見概要】 (意見No.5)**

- ・自殺対策計画とのタイトルだが、それだけで市民は読んでくれないのではないかと、タイトルを工夫する必要がある。

**【修正箇所】**

- ・タイトル「北九州市自殺対策計画」に加え、新たにサブタイトルとして「自分らしく生きる喜びを実感できるまちをめざして」をつける。

**修正 2**

**【意見概要】 (意見No.9)**

- ・「民生委員・児童委員活動支援事業」の事業概要について、表現を分かりやすくすべきではないか。

**【修正箇所】**

57 ページ、68 ページ

旧	新
(民生委員・児童委員は、地域において、高齢者への声かけや見守りなど、地域福祉活動における中心的な役割を担っています。) 少子高齢化の進行や、単身世帯の増加等の社会情勢の変化により、支援が必要な人が増加しており、民生委員・児童委員への期待と負担が増加しています。 今後、民生委員・児童委員の活動しやすい環境づくりに取り組み、その負担軽減の対策を行うことで、更なる活動の充実を目指し、地域福祉の充実を図ります。	民生委員・児童委員は、地域での声かけや見守りなど、地域福祉活動における中心的な役割を担っています。 少子高齢化の進行や、単身世帯の増加等の社会情勢の変化により、支援が必要な人が増加しており、民生委員・児童委員への期待と負担が増加しています。 今後も、民生委員・児童委員が活動しやすい環境づくりに取り組み、地域活動支援の充実を図ります。

**修正 3**

**【意見概要】（意見No.12）**

- ・「小地域福祉活動の推進」の事業概要について、表現を分かりやすくすべきではないか。

**【修正箇所】**

68 ページ

旧	新
住民が主体となり地域での見守り・支え合いを行う 小地域福祉活動を推進するため、北九州市社会福祉協議会が取り組んでいる「ふれあいネットワーク活動」に対し補助金を交付し、活動の充実・強化を図ります。	北九州市社会福祉協議会が取り組んでいる「ふれあいネットワーク活動」への支援を行うことで、地域での見守り・助け合い・話し合いの3つの仕組みづくりに取り組んでいる住民主体の小地域福祉活動の充実・強化を図ります。